

パフォーマンス出演時におけるコロナウイルス対策について

2021年2月10日

Power in da Performanceでは、コロナウイルスの感染拡大を防止するため、パフォーマンス出演時に以下の対策を行う事とする。

・参加パフォーマーの人数減

→移動中の感染リスクや控室等で密が出来てしまう事が想定される為、少しでもリスクを減らす為に状況を見て出演人数を減らす事がある
また、状況次第では会場近くに住むパフォーマーのみでの出演とし、都道府県をまたぐ移動を避ける対応を取る

・使用機材の持ち込み

→感染リスクを減らす為、マイクやスピーカー等使用機材は必要最低限のみを持ち込む事とする

・パフォーマーのバイタルチェック、出演基準

→パフォーマーには出演当日の1週間前から体調確認を行い、
1週間以内に37.5度以上の発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、味覚・嗅覚障害、息切れ、倦怠感
などの症状がある場合には欠席してもらう事とする

→出演基準を設定する

～パフォーマー出演基準～

- ①出演当日までの1週間のうち、37.5度以上の発熱がなく、咳・鼻汁・咽頭痛・倦怠感など
の明らかな体調不良がないこと
- ②味覚・嗅覚障害を認めた場合、発症から2週間以上の期間を経過し、症状が改善していること

・移動時のマスク着用、日頃からの手洗い、うがい、消毒の徹底

→日頃から感染防止に努める、また、ボールやマイク等パフォーマンスに必要な道具についても消毒を徹底し、出演当日も消毒液を持参し消毒出来るようにする

・車での会場入りの推進

→公共交通機関での密を避ける為に車移動を推進し、車内では窓を開けて換気するなどの対応を取る
(1台の車に出演者をたくさん乗せて密を作る事は避けるようにする)

・出演時のマスク着用、必要に応じてフェイスシールドの着用

→出演時はマスクの着用を必須とし、施設側からの要望があればフェイスシールドを着用する

・パフォーマンス時間・演目の変更

→飛沫感染や接触感染を避ける為に、状況に応じてパフォーマンス時間や演目を変更する
(手で触れる事の出来る距離に入らないようにする為、出演者と観客が一緒に踊る時間をなくすなど)

・当日出演前に行う事

→出演者の体温測定、手洗い、アルコール消毒、使用機材のアルコール消毒を当日出演前に行う

・緊急事態宣言期間中の出演について

→緊急事態宣言が発出されている期間中は、対面・オンラインを問わずイベント出演は行わないものとする

その他にも主催側と相談し、適宜必要な対策を講じる

Power in da Performance